

2019年 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます

糸
で
ん
わ

勢
1・2・3・ハイ、
威
1・2・3・ハイ、威
今年最後のイベント
「もちつき大会」が賑

やかに行われました。
ご利用者様と職員が
三人一組となり、大きな
杵を手に取り、交互
におもちをつきました。
掛け声や手拍子にも熱

がこもり、おもちをつ
くテンポも自然と速ま
ります。出来上がった
「白もち」「芋もち」
なで協力して丸め、そ

の場でおいしくいただ
きました。「昔は家で
毎年もちつきしよつた
なあ」「つきたての
おもちは美味しいなあ」と会話も弾み、笑い声
のあふれる楽しいもち
つき大会となりました。



お餅つき大会の様子

職員総出で恒例行事

お餅つきに終勢75名

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は当施設の運営につきましてご利用者様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は介護報酬・診療報酬の同時改定が行われました。2025年の超高齢社会に向け、医療と介護の連携強化が図られ、引き続き在宅重視の内容となりました。『リハ

ビリセンター「グリーン丈六」では、施設名称の由来である「すべてのものは厳しい冬の時を経て躍動する緑の季節を迎える。長年、社会の身体的・精神的機能を春の季節の輝く緑のように取り戻したい」という願いを込めて、ご利用者様ができる限り住み慣れたご自宅で暮らせるよう老人保健

施設の役割である在宅復帰・在宅支援機能を発揮して参りたいと存じます。今年は亥年です。亥の年は、翌年から始まる次の種の成長に備えて、個人は「知識を増やす、精神を育てる」組織は「人材育成や設

1月1日	(火)	おそとの会
7日	(月)	七草がゆ
15日	(火)	鏡開き
16日	(水)	生花クラブ
2月2日	(土)	節分(豆まき)
6日	(水)	生花クラブ
13日	(水)	BLS研修

行事予定

※毎週水曜日 14:30~
れもん買い物



入所者様の家族が作成し
施設に寄贈いたいた作



おせち料理作成の様子



副施設長 中川清美

心新たに頑張っていく所存でございます。本年もグリーン丈六をよろしくお願い申し上げます。それとともに、ご利用者様やご家族様そして地域の皆様方に幸多き一年であります。ようお祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

通所だより

観いただきたいです。
通所リハビリ 綱本康恵

2019年亥年です。先月はトナカイさん、サンタさんプレゼントを貼り絵で作っていただきました。見て頂けましたでしようか? 中では「どうなるかな?」と日々言われていましたが、12月1日から暗幕に飾りましたところ納得いたしました。皆さん気にいつてくれたようです。クリスマスが過ぎると外しますが、「とても綺麗ね」と皆さん気にいつてくれたようです。写真に撮りました。見てくださいね。今度の作品は、干支のいのししです。親の子のうり坊は絵の具で塗りました。一絵の具を使うのは何十年ぶりかしら」という声が多くなっています。塗り終わった時など自分が自分の作品を見つけてもらいました。飾つた時にどれがご自分だけに分かるサインをしてもらいました。飾つたものが玄関を入れて正面実非ご見えます。



谷岡龍一

医師不足は現状では深刻なのは確かである。しかし一方で厚労省は「将来的には医師は余る」と予想する。今年の四月に「医療従事者の靈縁に関する検討会」で示された推計によると、医学部の定員を据え置き、労働時間も週六十時間程度に制限するなどの仮説を置くと二〇二八年には需要と供給が均衡するという。さらに二〇四〇年には供給が需要を約三万人も上回ると推計されている。つまり今年医学部に入った医学生が六年で卒業したとするとき、頃には需要が均衡し、中堅医師になる二十年目には医師余り時代に突入している可能性が示唆される。将来医療はどうに変化していくのだろうか。

リハビリテーションセンターとグリーン丈六の職員総勢229名の職員が出席しました。この灵縁に関する検討会はカラオケ大会において、見事グリーン丈六が初優勝を飾りました。今後もこの一体感を維持しながら日々の職務に邁進していくべきだと思います。

なかでも、例年行われている職員の所属部署対抗の催し物(本年はカラオケ大会)において、見事グリーン丈六が初優勝を飾りました。今後もこの一体感を維持しながら日々の職務に邁進していくべきだと思います。

理学療法士の独り言

忘年会



事務部係長 犬伏卓也

先月28日に徳島グラニヴィリオホテルにて当法人の忘年会が催されました。ここでの医療センターとグリーン丈六の職員総勢229名の職員が出席しました。この忘年会はカラオケ大会において、見事グリーン丈六が初優勝を飾りました。今後もこの一体感を維持しながら日々の職務に邁進していくべきだと思います。